

夏休みの感染拡大に警戒を

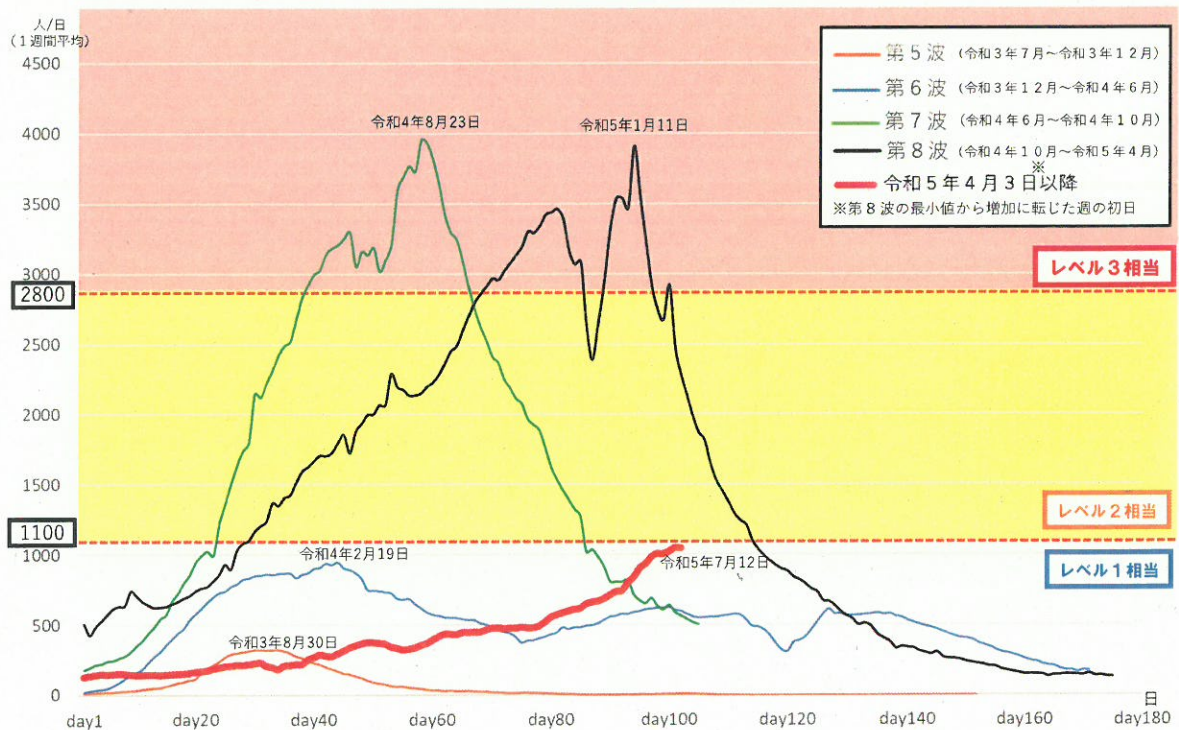
～ 陽性者数は「感染警戒期」の水準目前 ～

新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行してから約2ヶ月が経過しました。

この間、全国的に感染拡大の傾向が続いています。他県では、新規陽性者数や病床使用率が第8波のピークを上回り、救急搬送患者の受け入れ困難ケースも発生するなど医療ひっ迫を招いているとの報告もあります。

本県においても、陽性者数は右肩上がりが増加し、従来の感染レベル判断基準によるレベル2「感染警戒期」に迫っています。また、オミクロン株の中でも免疫逃避能力の高いXBB系統への置き換わりが進み、医療機関・福祉施設でのクラスターや学級閉鎖、さらには救急搬送困難事案も増加傾向となっています。

1日あたり新規陽性者数



※各波において、新規陽性者数（10万人対、7日間移動合計）が初めて5人を上回った日をday1として整理（ただし、第7波及び第8波は波の初日をday1とする）
※5/8以降は、岐阜県医師会が適用する「岐阜県リアルタイム感染症サーベイランスシステム」の協力医療機関からの報告に基づく推計値により算出